

八戸市男女共同参画基本計画（2次案）に対する 事前質問・意見一覧表

第1章 基本的な考え方

● 質問

No.	内 容
1	【基本計画：P3】 性別による固定的な役割分担意識が根強く残っているというがそれ程多いものなのかどうか。

● 意見

No.	内 容
2	【基本計画：P3】 「2 策定の趣旨」の文中で①市内事業所における女性の上級クラス登用者数が減少しているとある事 ②さらには男性の育児・介護休業の取得率の低さやワーク・ライフ・バランスについて理想と現実 にかなりの乖離がある事などを視点としてとらえ今後「男女一人ひとりが生き生きと暮らすことの 出来る八戸市」を築くとある事は自分も日々念頭にある事で同感であります。
3	【基本計画：P4】 「3計画の位置づけ」について、「第5次八戸市総合計画」との整合性について重要と考えます。

第2章 計画の方向性

● 意見

No.	内 容
4	【基本計画：P6】 基本目標(1)「男女の人権が尊重され、 <u>個人が尊厳をもって生活できる安全・安心な社会の実現</u> 」 について、「 <u>個人が</u> 」を外してもよいのでは。
5	【基本計画：P6】 下から2行目 地域や <u>市政の場</u> に → 地域や <u>家庭・職場</u> など多様な場… がよいのでは。
6	【基本計画：P6】 男性的、女性的な特性を生かすものは存在するわけで、それを否定するような表現は好ましくない。 専業主婦の存在を否定していないか。（「夕食の支度をしている母親がいるのは悪い家庭」など）
7	【基本計画：P6】 基本目標(2)は必要だろうか。(1)と(3)のみで十分と見えるが（本来の目標）。 縄文時代から歴史の中で男女役割分担が生まれてきている。男女がそれぞれの分野に進出しなければ いけない社会情勢、形態になってきているので、全ての人が、歴史を変えること（否定）を望ん でいるわけではない。分担意識をなくしてしまうことが共同参画の目標なのだろうか。基本目標(2) がことさら強調されることにより多くの反発を招き、本施策が進められることの障害となることを 危惧する。

8	<p>【基本計画：P7】 2 施策の体系 II-(1)-②職場における男女の均等な機会と待遇の確保について、職場における参画推進には、ポジティブ・アクションとワーク・ライフ・バランスは施策の両輪として欠かせないことから、ワーク・ライフ・バランスについては、一般的啓発活動だけでなく、職場づくりの中でも取り組んでいただきたい。「職場における男女の均等な機会と待遇の確保」を「職場における男女の均等な機会と待遇の確保及び仕事と家庭の両立支援」としてはどうか。</p>
9	<p>【基本計画：P7】 III-(2) - ①「妊娠・出産に関する健康支援」は強調されるが、安心な出産には、職業・職場に関する支援も必要なのでは。</p>

第3章 計画の内容

● 質問

No.	内 容
基本方向 I 男女共同参画に向けた意識づくり	
10	<p>【基本計画：P10】 注目指標について、H28の指標の根拠は？</p>
11	<p>【基本計画：P14】 審議会等における女性比率が低下又は増加しない理由と女性委員0人の審議会について</p>
12	<p>【基本計画：P14】 八戸市職員及び教職員、各々における管理職の女性比率 (平成18年度、平成22年度又は平成23年度)</p>
13	<p>【基本計画：P14】 八戸市においては女性の起業家支援、女性の再就職支援は行っていないか。</p>

● 意見

No.	内 容
基本方向 I 男女共同参画に向けた意識づくり	
14	<p>【基本計画：P10】 人間が成長過程において男女がともに能力を発揮するためには学校における教育・学習が重要な課題だと思います。下表に示してある数値は徐々に上がって来ていて良好ではありますがこれだけでは判断出来ないと思います。</p>
15	<p>【基本計画：P11】 事業一覧に示す、No.1～6まではどれも重要と考えます。事業No.2での市広報誌の活用ですが、広報誌のレイアウトを変えて1ページ目に何か目立つPRロゴ等を常時掲載するなど出来ないものかと思えます。また、町内会長を対象とする講演会の企画実施も必要と思えます。</p>
16	<p>【基本計画：P11】 ①広報・啓発活動の推進 事業No.6について 八戸市庁男女共同参画のホームページにもあるように、これからも推進する事業所の募集を行って、モデル事業所になっていただき、市民連携推進課や男女共同参画委員のみならず、モデル事業所が地元の企業に対しての牽引役を担っていただきたい。また、男女共同のホームページにも記載があるように、紹介されることにより、その企業や事業所の宣伝やイメージアップにも繋がるので、個人だけではなく事業所の参加や意識改革もお願いしたい。</p>
17	<p>【基本計画：P12】 苦情処理委員会の設置ですが重要と思えます。</p>
18	<p>【基本計画：P13】 事業No.10～13は、教育課程における男女共同意識啓発に関する事であり重要と思えます。</p>

基本方向Ⅱ 男女がともに活躍できる環境づくり	
19	【基本計画：P14】現状と課題の1行目 変化の <u>早い</u> 経済・社会 → <u>速い</u> or <u>はげしい</u>
20	【基本計画：P14】 労働の場における男女間では管理職への登用をはじめ働き方での差異が有る事等まだまだ差別待遇の現状があります。また家庭生活と仕事の面では性的な役割分担から脱しきれてない現状があります。これらを念頭とした政策活動は必要と思われます。
21	【基本計画：P16】 事業No.27～34は労働の場における重要な事項ばかりで、これではまだ不足のような気がしますが真剣にしかも実効ある取り組みが必要であると思います。
22	【基本計画：P18】 事業No.47について、家庭の事情によりどうしても放課後保護者が家にいない状況が有りますので重要と考えます。
23	【基本計画：P18】 保育園に関する支援は目立っているが、幼稚園は入園者の低下・経営難も見られる。片寄りはないか、縦割り行政（厚労省と文科省）をつなぐのは地方行政では。
基本方向Ⅲ 安全・安心な社会づくり	
24	【基本計画：P22】 災害時における共同参画の視点をとらえた地域づくりの推進について事業No.61～65は、重要な事だと考えます。
25	【基本計画：P23】 ①妊娠・出産等に関する健康支援について 施策の概要の■妊娠・出産を理由として雇用管理面で不利益に扱わないよう、母性健康管理に関して事業者へ周知を図ります。について、心と体のどちらか一つでも健康でなければ、どちらも健康ではなくなってしまう。そのことから「母性の心と体の健康管理」のような表し方はどうでしょうか。

その他（共通事項・全体的事項）

● 質 問

No.	内 容
26	1次案から2次案へのステップで事業数が137から77へと60事業が減少しているのですが、前回欠席したため、その経緯を伺いたい。

● 意 見

No.	内 容
27	今回の見直しポイントは、これまで取り組んできたことの反省を踏まえて、「実効性」が強調されている。 事業の見直しや新たな事業の具体化など、スモールステップで定期的にチェック、アップするという着実な進行管理がより重要になってくるのではないかと考えるが…？
28	基本計画1次案から、さらに整理統合されて、基本目標、施策の方向性がきちんと位置づけられたことが良かった。
29	「いのちをはぐくむ教育アドバイザー事業」は、県の医師会が主導で始まっている。当初、一部の役員事業として産婦人科医会は協力しないという方針をとっていた。当職が役員の時「産婦人科医会の会員である以上、会の許可がなければ参加できない」としていた。当時、三八地方を巡っていたのは片桐先生と小生である。

	<p>小児科、泌尿器科を増やすのは構わないが、生命にかかわる「妊婦・出産」とくに分娩に関することが弱いように思う。</p> <p>高校・短大の講義で、「中学生の時、いのちをはぐくむ教育アドバイザー事業で聞いたと思うが」との質問にほとんどの生徒が覚えていないと答えた。せっかくのセミナーでも「現場の声」を別な世界のように驚いており、県の役員が意見を述べるだけで質問もさせなかった。改善を求めたい。現在は産婦人科医会前会長が参加しているので会としては参加を認めていると思う。</p>
30	<p>3ページ2の策定の趣旨の中で「男性は仕事、女性は家庭」といった性別による固定的な役割分担が根強く残っている。こちらの部分では、共働きの家庭において妻が夫の扶養の範囲で仕事をしているため、家事や育児や仕事にと女性への負担が多い家庭があるのが現状だと思います。早期に景気の回復・賃金の改善をし、扶養にならなくても、女性も男性も同じ賃金や環境や立場で仕事ができる社会や、長時間労働（時間外）をしないで、家庭での家事や育児の分担をして、家族との時間を多くしたり、大切にできるような社会を創らなければならないと思います。そのためには、雇用や経済の回復が急務であります。</p> <p>八戸市においても育児休暇の取得率が低く推移しておりますが、取得することによって、女性も男性も、昇進や昇格が遅れたり、何らかの査定に関係するような企業が、まだあるのも現実であります。しかしながら、こんなことは絶対に許されることではありません。</p> <p>また、私を知る八戸市内のある保育所では、保育士が結婚して妊娠すると、その保育士を解雇にするというようなことが、今でも行われています。このことから、安心して出産や子育てができる八戸を目指さなければならないと思います。</p>
31	<p>市の委員会と一緒に作り上げた八戸市の事業案ではありますが、机上での事案に終わらせないでいかにして実効性のある事業にして行くかということだと思います。①市民へのPR②市に存在する団体各位からの協力体制の構築等があると思いますが、自分も出来る範囲で是非協力して参りたいと思っております。</p>